

第 1 号議案 令和元年度事業報告

(公益事業)

安部榮四郎記念館では、事業を記念館展示室で行う展示活動、手すき和紙伝習所で行う紙すき体験および館内館外で行うイベントを含む和紙普及活動（ワークショップ）、調査研究活動を主な事業としている。令和元年度においては、次のように実施した。

1. 展示活動について

① 常設展示 「安部榮四郎の軌跡と民芸作家作品展」

展示は常設のみで行った。昭和初期から民芸運動を縁に松江を訪れていた柳宗悦、バーナード・リーチ、河井寛次郎、棟方志功等の作品を展示した。

展示の説明や、展示品のキャプションを海外の方にも分かりやすく英語・フランス語で表記し、展示の説明文に関しては冊子を製作し配布した。

尚、この展示は対海外の観光客に対しての展示説明のパフレットを製作していることにより、インバンド効果は大きく前年度より海外からの来館者は増加した。

展示期間：平成31年4月～令和2年現在

2. 和紙普及活動

① 手すき和紙伝習所において

・紙すき体験の受入れ

予約制で一人から学校団体まで受入れ、人数と時間によって紙すき内容を変え対応した。八雲幼保園、ひよし保育園、八雲小学校、八雲中学校及び松江市内の民間保育園、幼稚園等が卒園、卒業証書を渡した。

近年境港に大型客船が寄港し、海外からの観光客が増加した。特にフランス語圏英語語圏が増加した。当館のスタッフが少ないため、ボランティア団体の援助も受け来館者が満足していただけるようなサービスに努めた。

② 「紙樂塾」（しがくじゅく）ワークショップの開催

一般参加の和紙工芸体験を開催。ロビーにおける少人数の体験が多く、うちわ作りが一番多かった。

手すき和紙伝習所で渡した和紙で箱ライト作りや夏休みに和紙を使った額絵作りのワークショップを開催した。

また、八雲塾「紙ってどうして出来るの？三椏皮はぎから紙すきまで」（第30回）を2月1日に開催した。1年に1度の冬の風物詩。紙の原木三椏を古式の方法で蒸し、皮をはぎ、紙料を作り、紙すきまでの工程を体験した。

八雲公民館・一般より40名参加

③ 「出雲民芸紙を未来へ繋ぐプロジェクト」（松江市地域版まちづくり総合戦略事業）

出雲民芸紙を使った新たな商品の開発やオブジェの制作、さらには手漉き和紙伝習所において体験項目を増やし体験者の増加を目的とするもので、和紙の製作から商品までの開発も手掛けた。

今年度は松江市から補助金を受け、紹介のあった2名の方（野津智恵子氏、門脇志保氏）に新たな商品の提案や活用方策等調査研究を委託し報告を受けた。

またこの事業において、実験的な要素はあるが、三椏・トロロアオイの栽培も視野に入れて活動した。

内容は、1月八雲町西岩坂地内の三椏の会の三椏刈り取りへの参加、3月広瀬町トロロアオイ栽培の現地見学、出雲市斐川町北山山中の元局納三椏栽培農家の見学、三椏のなえの植樹等を行った。

原料や道具がなくては手すき和紙は出来ない。当たり前にある時代は終わりが見えてきた。当面地域の活性化につなげる事業として次年度以降も継続して実施することとしたい。

3. その他

開館当時記念館の庭に設置され、その後破損に伴い撤去されていた生け垣を新たに板張りの垣根として設置した。(写真参考)

記念館のホームページが古くなってきたので、新しいホームページにするための準備をはじめた。今年度は、特に出雲民芸紙についての解説部分を動画等もいれ充実させるとともに多言語でも視聴できるようにした。

(出雲民芸紙工房 <https://izumomingeishi.com/> 参照)

出雲民芸紙紹介の絵本を英文で作成した。次年度以降も他の言語で絵本を作成する。

(収益事業)

クルーズ船による外国人観光客の入館が昨年度より大幅に増加し、それにともないロビー売店の売り上げも昨年度に比べ増加した。より外国人観光客に好まれる製品の開発が必要となっている。

(株) しゅんこうより土地賃貸料がはいった。

(法人事業)

① 役員会の開催

- ・令和元年度5月31日 理事会開催

平成30年度事業報告、決算及び財務諸表、任期満了に伴う理事推薦名簿評議員会の日時等について審議し決定承認した。

- ・令和元年度6月16日 評議員会開催

平成30年度事業報告、決算及び財務諸表、任期満了に伴う理事の選任を審議し、決定承認した。

- ・令和元年6月16日 みなし理事会開催

代表理事、館長の選任を書面により決議で行った。

- ・令和2年3月12日 理事会開催

令和元年度補正予算、令和2年度事業計画と予算、評議員会の日時等について審議し決定承認した。

- ・令和2年3月27日 みなし評議員会を開催

令和元年度補正予算、令和2年度事業計画と予算の報告を書面により承認決議した。

- ② 令和元年5月27日に長島、長澤両監事による監査が実施された。

(参考) 記念館庭垣根改修写真



入館者数

月日	有 料								小計	無料	合計
	個人入館者数				優待者入館者数						
	大人	大高生	中小生	計	大人	大高生	中小生	計			
4月計	71	2	2	75	52	0	0	52	127	39	166
5月計	37	0	1	38	134	4	2	140	178	37	215
6月計	45	17	0	62	135	1	4	140	202	37	239
7月計	23	1	1	25	41	2	11	54	79	48	127
8月計	24	8	25	57	69	1	71	141	198	70	268
9月計	43	0	0	43	9	0	0	9	52	37	89
10月計	8	0	1	9	211	0	75	286	295	74	369
11月計	16	1	0	17	53	0	83	136	153	362	515
12月計	12	0	2	14	22	0	0	22	36	25	61
1月計	25	0	0	25	4	27	2	33	58	19	77
2月計	30	5	6	41	9	16	1	26	67	103	170
3月計	23	3	3	29	7	0	0	7	36	46	82
合計	357	37	41	435	746	51	249	1046	1481	897	2378

2018 合計	257	6	38	301	533	80	233	846	1147	882	2029
---------	-----	---	----	-----	-----	----	-----	-----	------	-----	------

体験教室参加者数

	有 料				無料	合計
	大人	大高生	中小生	幼児		
4月	92	1	3	1	0	97
5月	119	0	2	1	10	132
6月	142	19	4	0	19	184
7月	34	2	10	18	20	84
8月	19	8	93	2	0	122
9月	14	0	0	0	20	34
10月	98	0	76	24	34	232
11月	39	0	110	137	21	307
12月	32	0	2	1	0	35
1月	14	3	0	1	0	18
2月	12	21	6	0	58	97
3月	9	1	7	2	49	68
合計	624	55	313	187	231	1410
2018 年	361	67	297	120	90	935

財 産 目 録

令和 2 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

科 目	場 所 等	物 量	使用目的等	金 額
I 資 産 の 部				
1 流 動 資 産				
現金・預金	手元保管		運転資金として	26,343
現普通預金	島根県農協／八雲支店		運転資金として	104,233
	山陰合同銀行／古志原支店		運転資金として	30,781
	八雲郵便局		運転資金として	14,646
	振替口座①		運転資金として	915
	振替口座②		運転資金として	1,087
	山陰合同銀行／八雲代理店			302
定期預金	山陰合同銀行／八雲			6,006,613
前払金	国債額面低額超過額未経過分			25,600
流動資産合計				6,210,520
2 固 定 資 産				
(1) 基 本 財 産				
土地	設立者寄付土地（記念館敷地）	1191.07 m ²	公益目的保有で、記念館敷地使用	3,823,307
利付国債				20,000,000
所蔵品	設立者寄付所蔵品	817 点	公益目的保有で、展示事業に使用	157,048,500
定期預金	島根県農協／八雲支店			10,000,000
基本財産合計				190,871,807
(2) そ の 他 固 定 資 産				
建物	記念館	434.08 m ²	公益目的保有で、1階に売店あり	89,203,856
	伝習所	77.53 m ²	公益目的保有で、体験教室使用	5,680,000
	伝習所	17.57 m ²	公益目的保有で、体験教室使用	4,200,000
構築物	庭園、塀、舗装路面、防壁			7,263,126
什器備品	応接セット、書棚、陳列台ほか			5,109,320
建物付属設備	電気、災害報知、給排水設備			9,809,999
手漉和紙伝習設備	手漉和紙伝習設備		公益目的保有で、体験教室使用	890,000
減価償却累計額	減価償却累計額			△98,329,257
電話加入権	電話加入権			81,140
その他固定資産合計				23,908,184
固定資産合計				214,779,991
資 産 合 計				220,990,511
II 負 債 の 部				
1 流 動 負 債				
前受金	捌しゅんこう 前受貸貸料			10,000,000
預り金	源泉所得税		31年1～3月分	3,900
	社会保険料		31年2～3月分	17,753
売店預り金	受託販売			216,370
流動負債合計				10,238,023
負 債 合 計				10,238,023
正 味 財 産				210,752,488

貸借対照表

令和 2 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現 金	26,343	88,754	Δ62,411
預 金	6,158,577	7,837,252	Δ1,678,675
前 払 金	25,600	38,400	Δ12,800
仮 払 金	0	6,780	Δ6,780
流 動 資 産 合 計	6,210,520	7,971,186	Δ1,760,666
2 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
土 地	3,823,307	3,823,307	0
利 付 国 債	20,000,000	20,000,000	0
所 蔵 品	157,048,500	157,048,500	0
定 期 預 金	10,000,000	10,000,000	0
基 本 財 産 合 計	190,871,807	190,871,807	0
(2) そ の 他 固 定 資 産			
建 物	99,083,856	99,083,856	0
構 築 物	7,263,126	7,263,126	0
什 器 備 品	5,109,320	5,109,320	0
建 物 付 属 設 備	9,809,999	9,809,999	0
手 漉 和 紙 伝 習 設 備	890,000	890,000	0
減 価 償 却 累 計 額	Δ98,329,257	Δ97,088,939	Δ1,240,318
電 話 加 入 権	81,140	81,140	0
そ の 他 固 定 資 産 合 計	23,908,184	25,148,502	Δ1,240,318
固 定 資 産 合 計	214,779,991	216,020,309	Δ1,240,318
資 産 合 計	220,990,511	223,991,495	Δ3,000,984
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
前 受 金	10,000,000	11,000,000	Δ1,000,000
預 り 金	21,653	43,332	Δ21,679
売 店 預 り 金	216,370	254,286	Δ37,916
流 動 負 債 合 計	10,238,023	11,297,618	Δ1,059,595
負 債 合 計	10,238,023	11,297,618	Δ1,059,595
III 正 味 財 産 の 部			
1 一 般 正 味 財 産	210,752,488	212,693,877	Δ1,941,389
(内 基 本 財 産 へ の 充 当 額)	(190,871,807)	(190,871,807)	(0)
正 味 財 産 合 計	210,752,488	212,693,877	Δ1,941,389
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	220,990,511	223,991,495	Δ3,000,984

正味財産増減計算書

平成 31 年 4 月 1 日から 令和 2 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	(1,201,002)	(1,201,000)	(2)
基本財産受取利息	201,002	201,000	2
基本財産受取賃貸料	1,000,000	1,000,000	0
② 事業収益	(3,069,627)	(2,545,356)	(524,271)
入館料収入	549,900	466,200	83,700
伝習所運営収入	833,370	654,286	179,084
売店収入	1,686,357	1,424,870	261,487
③ 受取補助金等	(606,000)	(0)	(606,000)
受取地方公共団体補助金	606,000	0	606,000
④ 受取寄付金	(1,200,000)	(1,217,958)	(Δ17,958)
受取寄付金	1,200,000	1,217,958	Δ17,958
⑤ 雑収益	(8,695)	(10,502)	(Δ1,807)
受取利息	105	806	Δ701
雑収入	8,590	9,696	Δ1,106
経常収益計	6,085,324	4,974,816	1,110,508
(2) 経常費用			
① 事業費			
事業経費	(6,858,946)	(6,203,802)	(655,144)
給料手当	1,547,000	1,459,200	87,800
臨時雇賃金	394,370	571,590	Δ177,220
福利厚生費	284,209	260,733	23,476
旅費交通費	20,400	21,950	Δ1,550
通信運搬費	150,794	149,912	882
減価償却費	1,143,597	1,214,112	Δ70,515
消耗品費	64,950	68,819	Δ3,869
修繕費	80,000	32,398	47,602
印刷製本費	605,000	482,760	122,240
光熱水料費	467,382	457,236	10,146
賃貸借料	405,044	269,638	135,406
保険料	86,106	86,106	0
諸謝金	0	20,000	Δ20,000
雑費	433,418	422,952	10,466
広告宣伝費	365,340	75,917	289,423
調査研究費	400,000	0	400,000
研修教材費	411,336	610,479	Δ199,143
事業費計	6,858,946	6,203,802	655,144

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
② 管 理 費			
福 利 厚 生 費	0	10,000	Δ10,000
会 議 費	23,880	24,280	Δ400
通 信 運 搬 費	26,070	53,887	Δ27,817
減 価 償 却 費	96,721	11,755	84,966
消 耗 品 費	12,442	12,623	Δ181
修 繕 費	8,229	3,600	4,629
印 刷 製 本 費	20,900	0	20,900
光 熱 水 料 費	4,766	4,666	100
賃 借 料	36,108	53,038	Δ16,930
保 險 料	846	846	0
諸 謝 金	261,720	218,880	42,840
租 税 公 課	1,000	0	1,000
負 担 金	119,200	134,700	Δ15,500
支 払 利 息	12,800	12,800	0
雑 費	307,593	144,061	163,532
寄 付 金	0	10,000	Δ10,000
広 告 宣 伝 費	24,992	0	24,992
管 理 費 計	957,267	695,136	262,131
経 常 費 用 計	7,816,213	6,898,938	917,275
評価損益等調整前当期経常増減額	Δ1,730,889	Δ1,924,122	193,233
評 価 損 益 等 計	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	Δ1,730,889	Δ1,924,122	193,233
2 経 常 外 増 減 の 部			
(1) 経 常 外 収 益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	Δ1,730,889	Δ1,924,122	193,233
法人税、住民税及び事業税	210,500	376,900	Δ166,400
当期一般正味財産増減額	Δ1,941,389	Δ2,301,022	359,633
一般正味財産期首残高	212,693,877	214,994,899	Δ2,301,022
一般正味財産期末残高	210,752,488	212,693,877	Δ1,941,389
II 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正 味 財 産 期 末 残 高	210,752,488	212,693,877	Δ1,941,389

正味財産増減計算書内訳表（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）

（単位：円）

勘定科目	公益目的事業会計		収益事業等会計		法人会計	合計
	売店等事業	賃貸事業	売店等事業	賃貸事業		
I 一般正味財産増減の部						
1、経常増減の部						
(1)経常収益						
①基本財産運用益	0	0	1,000,000	0	201,002	1,201,002
基本財産受取利息	0	0	0	0	201,002	201,002
基本財産受取賃貸料	0	0	1,000,000	0	0	1,000,000
②事業収益	1,383,270	1,686,357	1,686,357	0	0	3,069,627
入館料収入	549,900	0	0	0	0	549,900
伝習所運営収入	833,370	0	0	0	0	833,370
売店収入	0	1,686,357	1,686,357	0	0	1,686,357
③受取補助金等	606,000	0	0	0	0	606,000
受取地方公共団体補助金	606,000	0	0	0	0	606,000
④受取寄付金	600,000	600,000	600,000	0	0	1,200,000
受取寄付金	600,000	600,000	600,000	0	0	1,200,000
⑤雑収益	0	8,590	8,590	0	105	8,695
受取利息	0	0	0	0	105	105
雑収入	0	8,590	8,590	0	0	8,590
経常収益計	2,589,270	2,294,947	1,000,000	3,294,947	201,107	6,085,324
(2)経常費用						
①事業費						
事業経費	4,435,258	1,768,544	0	1,768,544	0	6,203,802
給与手当	773,500	773,500	0	773,500	0	1,547,000
臨時雇用賃金	197,185	197,185	0	197,185	0	394,370
福利厚生費	142,112	142,097	0	142,097	0	284,209
旅費交通費	10,200	10,200	0	10,200	0	20,400
通信運搬費	105,088	45,706	0	45,706	0	150,794

減価償却費	1,001,113	142,484	0	142,484	0	0	1,143,597
消耗品費	54,951	9,999	0	9,999	0	0	64,950
修繕費	80,000	0	0	0	0	0	80,000
印刷製本費	165,000	440,000	0	440,000	0	0	605,000
光熱水料費	448,518	18,864	0	18,864	0	0	467,382
賃借料	368,925	36,119	0	36,119	0	0	405,044
保険料	82,727	3,379	0	3,379	0	0	86,106
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0
雑費	311,864	121,554	0	121,554	0	0	433,418
広告宣伝費	365,340	0	0	0	0	0	365,340
調査研究費	400,000	0	0	0	0	0	400,000
研修教材費	408,960	2,376	0	2,376	0	0	411,336
事業経費	4,915,483	1,943,463	0	1,943,463	0	0	6,858,946
②管理費							
会議費	0	0	0	0	0	23,880	23,880
通信運搬費	0	0	0	0	0	26,070	26,070
減価償却費	0	0	0	0	0	96,721	96,721
消耗品費	0	0	0	0	0	12,442	12,442
修繕費	0	0	0	0	0	8,229	8,229
印刷製本費	0	0	0	0	0	20,900	20,900
光熱水料費	0	0	0	0	0	4,766	4,766
賃借料	0	0	0	0	0	36,108	36,108
保険料	0	0	0	0	0	846	846
諸謝金	0	0	0	0	0	261,720	261,720
租税公課	0	0	0	0	0	1,000	1,000
負担金	0	0	0	0	0	119,200	119,200
支払利息	0	0	0	0	0	12,800	12,800
雑費	0	0	0	0	0	307,593	307,593
広告宣伝費	0	0	0	0	0	24,992	24,992
管理費計	0	0	0	0	0	957,267	957,267

経常費用計	4,915,483	1,943,463	0	1,943,463	957,267	7,816,213
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,326,213	351,484	1,000,000	1,351,484	△ 756,160	△ 1,730,889
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,326,213	351,484	1,000,000	1,351,484	△ 756,160	△ 1,730,889
2、経常外増減の部						0
(1)経常外収益						0
経常外収益計						0
(2)経常外費用						0
経常外費用計						0
当期経常外増減額						0
他会計振替額	675,742	△ 175,742	△ 500,000	△ 675,742	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 1,650,471	175,742	500,000	675,742	△ 756,160	△ 1,730,889
法人、住民税及び事業税				0	210,500	210,500
当期一般正味財産増減額	△ 1,650,471	175,742	500,000	675,742	△ 966,660	△ 1,941,389
一般正味財産期首残高						212,693,877
一般正味財産期末残高						210,752,488
II 指定正味財産増減の部						0
当期指定正味財産増減の部						0
指定正味財産期首残高						0
指定正味財産期末残高						0
III 正味財産期末残高						210,752,488

収 支 計 算 書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備考
Ⅰ、一般正味財産増減の部				
1、経常増減の部				
(1)経常収益				
①基本財産運用益	(1,201,000)	(1,201,002)	△ 2	
基本財産受取利息	201,000	201,002	△ 2	
基本財産受取賃貸料	1,000,000	1,000,000	0	
②事業収益	(3,300,000)	(3,069,627)	230,373	
入館料収入	500,000	549,900	△ 49,900	
伝習所運営収入	800,000	833,370	△ 33,370	
売店収入	2,000,000	1,686,357	313,643	
③受取補助金等	(800,000)	(606,000)	194,000	
受取地方公共団体補助金	800,000	606,000	194,000	
④受取寄付金	(1,200,000)	(1,200,000)	0	
受取寄付金	1,200,000	1,200,000	0	
⑤雑収益	(10,200)	(8,695)	1,505	
受取利息	200	105	95	
雑収入	10,000	8,590	1,410	
経常収益計	6,511,200	6,085,324	425,876	
(2)経常費用				
①事業費				
事業経費				
給料手当	1,547,000	1,547,000	0	
臨時雇用賃金	450,000	394,370	55,630	
福利厚生費	280,000	284,209	△ 4,209	
旅費交通費	30,000	20,400	9,600	
通信運搬費	160,000	150,794	9,206	
減価償却費	1,144,282	1,143,597	685	
消耗品費	80,000	64,950	15,050	
修繕費	100,000	80,000	20,000	
印刷製本費	630,000	605,000	25,000	
光熱水料費	480,000	467,382	12,618	
賃借料	410,000	405,044	4,956	
保険料	120,000	86,106	33,894	
諸謝金	20,000	0	20,000	
雑費	500,000	433,418	66,582	
広告宣伝費	400,000	365,340	34,660	
調査研究費	400,000	400,000	0	
研修教材費	420,000	411,336	8,664	
事業費計	7,171,282	6,858,946	312,336	
②管理費				
会議費	30,000	23,880	6,120	
通信運搬費	55,000	26,070	28,930	

減価償却費	58,281	96,721	△ 38,440
消耗品費	10,000	12,442	△ 2,442
修繕費	10,000	8,229	1,771
印刷製本費	0	20,900	△ 20,900
光熱水料費	6,000	4,766	1,234
貸借料	60,000	36,108	23,892
保険料	2,000	846	1,154
諸謝金	350,000	261,720	88,280
租税公課	3,000	1,000	2,000
負担金	250,000	119,200	130,800
支払利息	13,000	12,800	200
雑費	300,000	307,593	△ 7,593
広告宣伝費	0	24,992	△ 24,992
管理費計	1,147,281	957,267	190,014
経常費用計	8,318,563	7,816,213	502,350
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,807,363	△ 1,730,889	△ 76,474
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,807,363	△ 1,730,889	△ 694,741
2、経常外増減の部			
(1)経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 1,807,363	△ 1,730,889	△ 694,741
法人税、住民税及び事業税	210,500	210,500	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,017,863	△ 1,941,389	△ 76,474
一般正味財産期首残高	212,693,877	212,693,877	0
一般正味財産期末残高	210,676,014	210,752,488	△ 76,474
II 指定正味財産増減の部			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	210,676,014	210,752,488	△ 76,474

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・定率法

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式により処理しております。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土 地	3,823,307	0	0	3,823,307
利 付 国 債	20,000,000	0	0	20,000,000
所 蔵 品	157,048,500	0	0	157,048,500
定 期 預 金	10,000,000	0	0	10,000,000
合 計	190,871,807	0	0	190,871,807

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
土 地	3,823,307	0	(3,823,307)	0
利 付 国 債	20,000,000	0	(20,000,000)	0
所 蔵 品	157,048,500	0	(157,048,500)	0
定 期 預 金	10,000,000	0	(10,000,000)	0
合 計	190,871,807	(0)	(190,871,807)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	99,083,856	75,128,274	23,955,582
構 築 物	7,263,126	6,651,356	611,770
什 器 備 品	5,109,320	4,609,314	500,006
建 物 付 属 設 備	9,809,999	9,809,996	3
手 漉 和 紙 伝 習 設 備	890,000	889,999	1
電 話 加 入 権	81,140	0	81,140
合 計	122,237,441	97,088,939	25,148,502

5. 保証債務等の偶発債務

該当事項ありません。

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当事項ありません。

7. 重要な後発事象

該当事項ありません。

8. その他

前受金を原資とする定期預金の預金利子収入は、収益事業として計上してある。

監査報告書

公益財団法人 安部榮四郎記念館

理事長 安部信一郎 殿

令和2年 5 月 23 日

公益財団法人 安部榮四郎記念館

監事

長 島 讓



公益財団法人 安部榮四郎記念館

監事

長 澤 広 朋



私たち監事は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1、監査の方法及びその内容

各監事は、理事および使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決済書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2、監査意見

(1)事業報告の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2)計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。



公益財団法人安部榮四郎記念館

令和2年第1回理事会議事録

- 1 開催日時 令和2年5月29日(金)12時~13時30分
- 2 開催場所 五幸和室 (松江市上乃木4丁目21-7)
- 3 理事現在数及び定足数
現在数 6名、定足数 4名
- 4 出席理事数 6名
(本人出席) 安部信一郎 澤田暉夫 米田裕幸 青砥誠一 安部紀正 藤田彰裕
(監事出席) 長島 譲 長澤広朋
(その他) 安部己図枝学芸員
- 5 議案 第1号議案「令和元年度事業報告の承認」の件
第2号議案「令和元年度決算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書及び
付属明細書並びに財産目録等)の承認」の件
第3号議案「定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等」の件
- 6 議事の経過及びその結果
 - (1) 定足数の確認等
冒頭で安部理事長が定足数の充足を確認し、続いて同理事長から本会議の議事進行及び議案資料について説明があった。
 - (2) 議案の審議状況及び議決結果等
定款の規定に基づき、安部理事長が議長となり、本会議の成立を宣し議案の審議に移った。
議事録署名人は、定款第40条の規定にもとづき、安部信一郎理事長、長島譲監事、長澤広朋監事とし、議案の審議に移った。
第1号議案 「令和元年度事業報告の承認」の件
第2号議案 「令和元年度決算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書及び付属明細並びに財産目録等)の承認」の件
理事長より資料にもとづき第1号議案ならびに第2号議案について詳細説明があった。
続いて安部学芸員が補足説明を行った。
続いて議長の求めに応じて、長島監事より監査方法の概要及び監査意見として、財務諸表等が会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産状況を正しく示していること、事業報告の内容が事実であることが報告された。
審議の結果、第1号議案及び第2号議案のいずれも原案通り出席理事全員一致で可決承認した。



第3号議案「定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等」の件

議長より、コロナについて非常事態宣言は解除されたが、引き続き感染予防の注意が必要な状況が続いているので、今回の定時評議員会は評議員全員の同意書によるみなし決議にて決議いただくため、本理事会でその方法を決議し評議員に対して書面評議員会を通知することにつき審議いただきたいとの提案があった。

審議の結果、原案通り出席理事全員一致で可決承認した。

以上を持って議案の審議等を終了したので、13時30分、議長は閉会を宣し解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事及び監事は記名押印する。

令和2年 5月29日

代表理事

安部信一郎



監事

長島 讓



監事

長澤 広朋



公益財団法人 安部榮四郎記念館
令和2年度第1回定時評議員会

- 1、評議員会の決議があったものとみなされた事項の内容
第1号議案 「令和元年度事業報告の承認」の件
第2号議案 「令和元年度決算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書及び付属
明細書並びに財産目録等)の承認」の件
- 2、評議員会の決議があったものとみなされた事項を提案した理事 安部信一郎
- 3、評議員会の決議があったものとみなされた日 令和2年 6月15日
- 4、評議員会議事録の作成に係る職務を行った理事 安部信一郎

評議員数 6名 (同意書別添のとおり)
監事数 2名 (確認書別添のとおり)

令和2年5月29日、代表理事 安部信一郎が評議員の全員に対して、評議員会の決議の目的である事項について上記の内容の提案書を発し、当該提案につき令和2年6月15日までに評議員の全員から書面により同意の意思表示を得たので、定款第23条(一般法人法第194条)に基づく評議員の決議の省略の方法により、当該提案(第1号議案及び第2号議案)を承認可決する旨の評議員会の決議があったものとみなされた。

以上のとおり、評議員会の決議があったとみなされた事項を明確にするため、本議事録作成に係る職務を行った理事は次に記名押印する。

令和2年6月15日

代表理事 安部信一郎

